



## 第二回大会開催 峰山ヒルクライム

7月7日(日)に、神河町役場をスタートとし、リラクシアをゴールとする「第2回 峰山ヒルクライム」が行われました。17キロの山道を自転車でする上がるレースです。全国各所から昨年を上回る参加者があり、昨年以上の盛り上がりを見せました。

今年は、前日受付のスタッフとして自転車競技部の生徒が活躍しました。他にも、生徒会やゴルフ部の生徒が多く関わる大会となりました。

選手たちは、昨年のタイムを大きく更新し、成長を感じることができました。



## 救急処置講習会



7月4日(木)と、5日(金)にそれぞれ職員、運動部代表生徒と保健美化委員を対象とした救急法講習会を開催し、熱中症の予防、救急処置についての講話と、AEDを用いた一次救命処置の実技演習を行いました。

「手順は簡単だけど、いざ心肺蘇生法をやるとなるとパニックになって上手くできませんでした。」「熱中症を予防するために、部活中や休み時間に水分摂取をしっかりして、周りにも声をかけて行こうと思いました。」「何度か救急法について

学んだことはあったけど、忘れていた内容もあった。」「熱中症を甘く見たらだめだと感じました。」「正しい胸骨圧迫はとても大変で力が必要でした。」(生徒の感想文)



## 避難誘導訓練



7月10日(水)に、地震とそれに伴う火災の発生を想定した避難誘導訓練を実施しました。

避難訓練終了後に、体育館において、神河町役場ひと・まち・みらい課課長補佐の岩田勲氏に「宮城県山元町復興への取組み」という演題で、講演をしていただきました。

東日本大震災の復興支援のために派遣された際の貴重なご経験を基に、新しいまちづくりを進めることの重要性について話していただきました。

生徒たちには、いつ遭遇するか分からない災害に対して、しっかりとした目的を持って行動してほしいと願っています。



**ちょっと一言** ◇蒸し暑さの中、「命一番」「自主力」「相補力」をキーワードに、皆がんばってくれました。特に、ヒルクライムには、昨年度より多くの生徒がボランティアとして参加してくれました。避難誘導訓練では、昨年度より10秒ほど早い行動がとれていました。感謝です。

(N. A.)